



2021 年 7 月 30 日

野村不動産ホールディングス株式会社向け サステナビリティ・リンク・ローンの取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、野村不動産ホールディングス株式会社（代表取締役社長 沓掛 英二）の包括型サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（以下、「包括型 S L L フレームワーク」）制定にあたり、サステナビリティ・コーディネーター^{※1}として策定支援を行うとともに、2021 年 7 月 30 日（金）、本包括型 S L L フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「S L L」）を取り組みましたのでお知らせします。なお、**包括型 S L L フレームワークを活用した S L L の取組みは国内初となります。**

S L L は、金利条件等の貸付条件と、融資先の S D G s ・ E S G 戦略におけるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「S P T s」）に対する評価を連動させ、その達成状況に応じて、融資先にインセンティブやディスインセンティブが発生することで、持続可能な経済活動および経済成長を促進し、継続的に支援することを目的としています。今回の包括型 S L L フレームワークは、野村不動産ホールディングス株式会社の S P T s 達成に向けた取組みを支援する金融機関を募る同社主導のフレームワークであり、まず第一弾として、T S U B A S A アライアンス^{※2}参加行のうち当行を含む 9 行が協調して融資を取り組みました。また今後、他の金融機関が同社に対し S L L を取り組む際の枠組みとして本包括型 S L L フレームワークを活用することにより、その輪を広げていくことが可能となります。

地銀広域連携の枠組みである「T S U B A S A アライアンス」では、「T S U B A S A S D G s 宣言」のもと、事業活動をつうじた社会・環境課題の解決に資する取組みを、参加各行との連携により推進しております。本件についても、この連携の成果として、実現に至りました。

また、当行では「サステナブル・ファイナンス^{※3}」の実行金額目標として、2019 年度から 2030 年度までに 2 兆円（うち「環境系ファイナンス」1 兆円）を掲げております。当行は今後もグループ一体となって、またアライアンスで連携する金融機関と知見を共有しながら、サステナブル・ファイナンスの取組みを一層推進してまいります。

※1 サステナビリティ・リンク・ローン商品の組成・設計にあたって、借り手の S P T s（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）設定等を支援する役割。

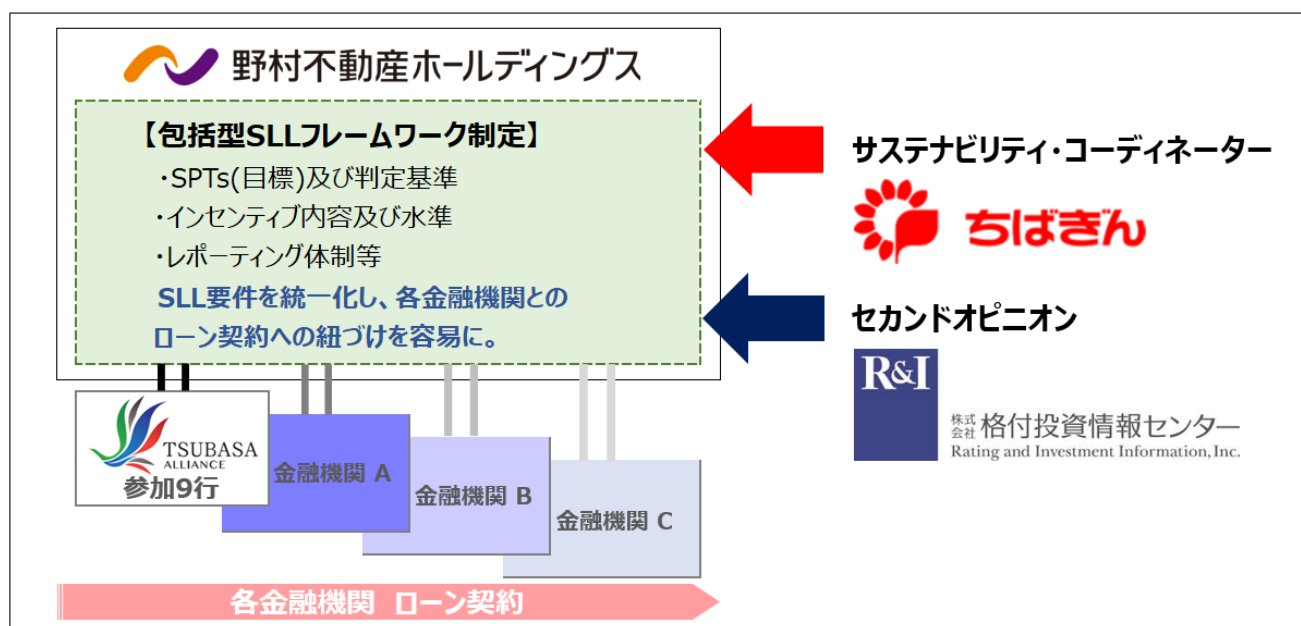
※2 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の 10 行が参加する地銀広域連携の枠組み。

※3 環境課題や社会課題の解決を資金使途とするファイナンスであり、お客さまの ESG や S D G s への取組みを支援するファイナンスを含む。

<参考>千葉銀行統合報告書 2021

[URL:https://www.chibabank.co.jp/company/ir/library/disclosure/](https://www.chibabank.co.jp/company/ir/library/disclosure/)

【スキーム図】



【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

借 入 人	野村不動産ホールディングス株式会社
サステナビリティ・コーディネーター	株式会社千葉銀行
貸 出 金 融 機 関	千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、群馬銀行（TSUBASA アライアンスへの参加順）
実 行 日	2021 年 7 月 30 日（金）
S P T s	温室効果ガス総排出量削減率目標
イ ン セ ン テ ィ ブ	SPTs 達成状況に応じた金利スプレッド優遇
第 三 者 意 見	株式会社格付投資情報センター
融 資 総 額	110 億円（上記 TSUBASA アライアンス参加行が実行日に対応する総額）
資 金 使 途	運転資金（リファイナンスを含む）
貸 出 形 態	証書貸付

以 上

